

静岡県

# 土地改良



写真：第4回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入選作品（裾野市深良）

○静岡県土地改良事業団体連合会設立 60 周年記念式典	1
○全国水土里ネット表彰式	3
○平成 30 年度 第 3 回 理事会	5
○水土里ネット静岡 第 62 回 通常総会	5
○「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018 表彰式	6
○第 22 回歴史文書館企画展歴史学習会 シンポジウム「寺谷用水の歴史と今」	6
○第 4 回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト審査結果	7
○平成 31 年度(2019 年度) 本会新規採用職員の紹介	8
○行事予定(5月～7月)	8
○静岡県の歴史的な土地改良施設	9
○ふじのくに美しく品格のある邑	10
○平成 31 年度(2019 年度) 水土里ネット静岡 組織図	11



豊かな農村空間を創造する

みどり  
水土里 ネット 静岡  
静岡県土地改良事業団体連合会

## 静岡県土地改良事業団体連合会設立 60 周年記念式典



伊東会長式辞

平成 31 年 2 月 1 日(金)、静岡音楽館 AOI(静岡市)において、静岡県土地改良事業団体連合会設立 60 周年記念式典を開催しました。

式典は開会宣言から始まり、伊東会長が「60 周年記念式典を開催できますことを、当連合会と共に歩んでこられた先人達に感謝しますとともに、大変栄誉に思います。この式典が、将来に向けての新たな農業農村整備事業の姿を会員の皆様と一緒に考える節目となれば幸いに存じます。」と式辞を述べました。

第一部では土地改良功労者表彰が執り行われ、団体表彰で 1 団体、個人表彰で 27 名(役員の部 24 名、職員の部 3 名)が受賞の栄に浴されました。引き続き、日頃、本県の農業農村整備を支えてくださっている 3 団体へ感謝状贈呈が行われました。

続いて、静岡県副知事の難波喬司氏、全国土地改良事業団体連合会会長の二階俊博氏(代理：専務理事の小林祐一氏)、衆議院議員の塩谷立氏、静岡県議会議長の渥美泰一氏よりご祝辞をいただきました。

第一部の終わりには、土地改良の原点に立ち返り静岡県民の期待に応える農業農村整備の推進に向けたスタート宣言を本会理事の長田繁喜氏が示し、今後の取り組みへの意志を高らかに宣言しました。

第二部では、本会設立から 60 年の歩みを記した年表と「ふじのくに美しく品格のある邑」を空から見た映像を用いて、静岡県の土地改良の遷移や農業農村の活動と魅力を紹介しました。

続いて『土地改良法改正が目指す農業・農村』と題し、法改正の内容に触れながら農業農村整備の新たな展開方向について全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫氏にご講演いただきました。



宮崎雅夫氏記念講演

水土里ネット静岡 平成 30 年度土地改良功労者

【 団 体 表 彰 】

【団体表彰】

高根西部塚原土地改良区
-------------



高根西部塚原土地改良区

【個人表彰】 役員の一部

太田 長八	東伊豆町長
込山 正秀	小山町長
渡邊 勝	富士裾野東部土地改良区 前理事長
杉山 豊	高根西部塚原土地改良区 理事長
鈴木 洋一	鷹岡農地保全土地改良区 理事
小林 利則	鷹岡農地保全土地改良区 理事
井出 和正	鷹岡農地保全土地改良区 理事
近松 利忠	鷹岡農地保全土地改良区 理事
井出 秀男	鷹岡農地保全土地改良区 総括監事
染谷 絹代	牧之原畑地総合整備土地改良区 副理事長
川島 康弘	磐田用水東部土地改良区 理事
松下 兼夫	磐田原土地改良区 理事
山田 勇治	寺谷用水土地改良区 理事
金原 眞一	寺谷用水土地改良区 総括監事
清水 捷次	浜松市西南部土地改良区 理事
小栗 誠一郎	豊西土地改良区 副理事長
川合 武久	豊西土地改良区 統括監事
平野 善久	浜北土地改良区 副理事長
高林 哲司	浜北土地改良区 理事
森島 眞澄	灰の木原土地改良区 理事
波多野 晃	都田上土地改良区 副理事長
柴田 喜久秧	浜名湖北部用水土地改良区 理事
高橋 敏明	浜名湖北部用水土地改良区 理事
須部 秀樹	浜名湖北部用水土地改良区 理事

【 個人表彰(役員の一部) 】



東伊豆町長 太田長八氏

【 個人表彰(職員の一部) 】



東伊豆町 農林水産課長 鈴木伸和氏

【 受賞者代表謝辞 】



小山町長 込山正秀氏

【 感謝状贈呈 】

【個人表彰】 職員の一部

鈴木 伸和	東伊豆町 農林水産課 課長
久保田 朝子	豊西土地改良区 事務員
鈴木 巧也	静岡県土地改良事業団体連合会 西部事業所 事業所長代理

【感謝状贈呈】

“水”への感謝	公益社団法人 静岡県山林協会
“土”への感謝	一般社団法人 静岡県農業会議
“里”への感謝	静岡県多面的機能支払推進地域協議会



## 全国水土里ネット表彰式

平成 31 年 3 月 26 日(火)、シェーンバッハ・サボー(東京都)において全国水土里ネット表彰式が行われました。

「全国水土里ネット表彰式」は、土地改良事業を通じ地域農業の発展に優秀な成果をおさめているなど、長年にわたり運営が良好である土地改良区の表彰(「全国土地改良功労者等表彰」)と、農業農村整備事業を契機に、産地収益力の向上や担い手の体質強化が図られている地区、及び中山間地域等において産地収益力の向上や担い手の体質強化が図られるとともに、農村協働力を活かした地域資源の保全管理体制の強化や、美しい農村環境の創造を通じた地域づくりに取り組んでいる地区の表彰(農業農村整備優良地区コンクール)を行うもので、毎年開催されているものです。

第 60 回全国土地改良功労者等表彰では、全国から 110 団体(農林水産大臣表彰 5 団体、農林水産省農村振興局長表彰 2 団体、金章 32 団体、銀章 45 団体、銅章 26 団体)と、個人 114 名が表彰され、本県からは、団体の部で 4 団体、個人の部で 2 名が受賞の栄に浴されました。



銀章：原土地改良区



銅章：尾羽土地改良区



銅章：池村土地改良区

### 全国土地改良 功労者等表彰



個人表彰：石川 正巳 氏



個人表彰：藤原 寿美男 氏

#### 【団体表彰】

銀章：富士南麓土地改良区  
原土地改良区

銅章：尾羽土地改良区  
池村土地改良区

#### 【個人表彰】

西山寺阿僧土地改良区 理事長 石川正巳 氏  
浜名湖北部用水土地改良区 総務課長 藤原 寿美男 氏

(平成 31 年 3 月 26 日現在)



農業振興部門農林水産大臣表彰：三ヶ日地区



難波副知事表敬訪問の様子

農業農村整備  
優良地区コンクール表彰

農業振興部門 農林水産大臣表彰

三ヶ日地区（浜名湖北部用土地改良区三ヶ日町工区連合会）

農業農村整備優良地区コンクール表彰では、16 地区(農業振興部門：農林水産大臣表彰 2 地区・農村振興局長表彰 4 地区・全国水土里ネット会長表彰 5 地区、中山間地域等振興部門：農林水産大臣表彰 2 地区・農村振興局長表彰 2 地区・全国水土里ネット会長表彰 1 地区)が表彰されました。

本県からは、農業振興部門の農林水産大臣表彰に浜松市北区三ヶ日町の浜名湖北部用土地改良区三ヶ日町工区連合会が選ばれ、受賞の栄に浴されました。

後日の 3 月 27 日(水)、浜名湖北部用土地改良区三ヶ日町工区連合会は静岡県庁を表敬訪問し、難波副知事へ受賞報告を行いました。

## 平成 30 年度 第 3 回 理事会

平成 31 年 2 月 15 日(金)、静岡市産学交流センター(静岡市)において、平成 30 年度 第 3 回 理事会を開催しました。伊東会長をはじめ、池田副会長、大石副会長、理事 7 名、総括監事 1 名、監事 1 名、顧問 1 名、参与 4 名が出席しました。

会に先立ち、伊東会長から「2 月 1 日に開催した当連合会設立 60 周年記念式典も無事終わり、次の時代への新たな展開へのスタートを切った。予算要望は自分たちが培ってきた現状を踏まえ、企画力を持つことが各改良区、市町、農業者に求められている。「農地と森林は個人所有でありながら社会資本」であるため、共通財産という認識を持たねば農地を守り有効活用することについて理解が得られない。ぜひとも新たな展望が開かれるよう、時代を先取るよう行動してほしい。」と挨拶がありました。

引き続き伊東会長を議長とし、「平成 30 年度中間監査(平成 30 年度上半期事業報告及び決算報告)結果について」など全 8 議案が提出され、全て原案通り可決されました。



理事会の様子

## 水土里ネット静岡 第 62 回 通常総会

平成 31 年 3 月 22 日(金)、ホテルセンチュリー静岡(静岡市)において、水土里ネット静岡 第 62 回 通常総会を開催しました。

開催にあたり、伊東会長から「先般開催した 60 周年記念式典において、農業農村整備の使命を再確認した。各地域で次世代に使命感を引継いでいただきたい。

要請活動の結果、予算が約 10 年前の水準を超える規模まで回復した。今後も各地域の推進協議会を中心としながら、改良区自らの言葉をもって説明する要請活動を継続する必要がある。

土地改良法の改正に伴い、土地改良区は平成 34 年度から貸借対照表を作成しなければならないが、各改良区の業務内容、資産結果を把握できる資料として互いに勉強していこう。」と挨拶がありました。

通常総会では静岡県知事の川勝平太氏(農林水産戦略監 芦川敏洋氏代読)、静岡県議会議長の渥美泰一氏、関東農政局長の浅川京子氏(農村振興部長 田中久二氏代読)よりご祝辞をいただいた後、磐田原土地改良区理事長の河島直明氏の議長のもと、「平成 30 年度収支予算補正について」をはじめ「平成 31 年度事業計画及び収支予算について」など全 6 議案が提出され、全て原案通り可決されました。



通常総会の様子

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018 表彰式



水土里ネット静岡会長賞



『田んぼには、色々な生き物がいるよ。』



水土里ネット静岡会長賞表彰式

昨年度開催された「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018 には、全国から 6,284 点もの作品応募があり、盛況に開催することができました。その作品の中から厳正なる審査の結果、静岡県内から入選 2 作品、水土里ネット静岡会長賞 1 作品の計 3 作品が選ばれました。

平成 31 年 2 月には、藤枝市立葉梨西北小学校(6 日)、島田市立大津小学校(13 日)、浜松市立曳馬小学校(27 日)の 3 校において表彰式を開催しました。

## 第 22 回歴史文書館企画展歴史学習会 シンポジウム「寺谷用水の歴史と今」

平成 31 年 2 月 9 日(土)、磐田市歴史文書館(磐田市)において、第 22 回歴史文書館企画展歴史学習会 シンポジウム「寺谷用水の歴史と今」が開催されました。このシンポジウムは、1 月 15 日(火)から 2 月 28 日(木)まで磐田市歴史文書館で開催された企画展「寺谷用水～天竜川下流域の景観を作り出した農業用水～」の関連イベントです。



シンポジウムの様子

パネリストとして、人文地理学の研究者で愛知大学名誉教授の藤田佳久氏、寺谷用土地改良区理事長(本会副会長)の池田藤平氏、磐田用水東部土地改良区の青島一彦氏、そして企画展担当者の中山正典氏が登壇し、寺谷用水の歴史的価値や用水管理の今を語りました。

## 第4回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト審査結果

平成31年2月19日(火)、静岡県主催の「第4回 静岡県農村の魅力フォトコンテスト」の審査会が開催されました。このコンテストは、静岡県の美しい農村景観や日々の暮らしの風景など、農村の魅力を伝える写真を通じて農業・農村の果たす役割や大切さを広く県民に理解してもらうとともに、優良な写真素材を収集し、農業・農村関連事業の広報に活用することを目的として、1年に1度開催されています。

今年の募集テーマは「伝えたい「美しい農山村 SHIZUOKA」の魅力」とし、応募総数840点の作品の中から入賞作品41点を選出されました。



— 特選(静岡県知事賞)「牛舎で働く」—



— 準特選「盛夏の蓮田」—



— 準特選「おさんぽ」—



— 準特選「一休み」—



— 準特選「稲が飛ぶ」—

入賞作品の展示会は2019年7月に開催予定です。



## 平成31年度(2019年度) 本会新規採用職員の紹介

あおしま たいすけ  
**【青島 大恭】** 静岡県立浜松工業高等学校 卒業

4月から事業課に配属が決まりました、新規採用の青島大恭と申します。

高校を卒業して社会人になることに実感が湧きませんでした。先輩方から仕事の内容などを聞いていく内に少しずつ実感が湧いてきました。これまでとは違い、責任を自分で負うことなど学生と社会人では異なることが多くあると思いますが、意識を高く持っていきたいと思います。



私は、これまで工業高校で土木について学んできました。農業土木という違った分野に取り組むことや新しい環境に慣れていくことに不安はありますが、高校で学んだことを少しでも活かしていけたらと思っています。また、業務を行っていく中で様々な場面で学ぶことが多々あると思いますので、効率よく吸収して早く環境に馴染んでいきたいです。

これから、連合会や会員の皆様のお役に立てるように日々精進していきます。今後、仕事をしていくうえでご迷惑をおかけすることがあると思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

## 行事予定(5月～7月)

開催日	行事予定	開催場所
6月5日(水)	農業農村整備の集い	シェーンバツハ・サポー (東京都)
6月19日(水)	令和元年度 第1回 監事会	本会会議室
7月26日(金)	令和元年度 第1回 理事会	静岡市産学交流センター (静岡市)

静岡県歴史的  
土地改良施設しょうわほうすいろ  
昭和放水路

所在地：富士市沼田新田

昭和放水路は、一級河川沼川から駿河湾に放流するように造られた延長 1,080m（開渠部 898m、暗渠部 182m）の水路です。水田の洪水被害の防止と優良農地化を目的として、昭和 18 年（1943）県営沼川沿岸排水幹線改良事業により整備されました。

## 浮島ヶ原低地

昭和放水路の上流には、沼津市片浜付近から富士市吉原近辺に至る東西約 13 km、南北約 2 km、面積約 20 km<sup>2</sup>にわたる浮島ヶ原低地が広がっています。この東西に細長く帯状に広がる舟底型の低平な大湿原地帯は、浮島沼とも呼ばれます。

## 自然の猛威との格闘

愛鷹山麓の川から流れ込んだ水は、東西に流れる沼川を通過して吉原湊（現在の田子の浦港）から駿河湾へ流れ出ますが、浮島ヶ原と潮位との高低差が非常に少ないために十分な排水能力がありません。そして 5 月から 11 月に至る 6 ヶ月間は大浪が来襲するのが普通で、高浪や津波で湊口が土砂で塞がると、土砂を乗り越えてきた潮水は沼川を逆流して田畑に侵入し、浮島ヶ原全域が一大湖沼と化してしまいました。

状況を変えるべく江戸時代終わりから何人もの先駆者が治水事業に挑戦しましたが、自然の猛威に瓦解していきました。

## 戦時下での人々の奮闘

浮島ヶ原の災害を防ぐためには、湊口への海水の逆流を防ぐ水門、そして抜本的に浮島沼に滞水する水を排水させるための排水施設が必要でした。

明治 18 年(1885)、静岡県下で一番最初にセメントを使用した沼川石水門(六つ眼鏡)が 11 月に築造されると、沼川沿岸や浮島ヶ原の逆潮が飛躍的に減少しました。

しかし浮島ヶ原の排水はあいかわらず悪く、湊口の閉塞、河川の氾濫、水田の冠水に毎年悩まされ続けていました。

昭和期に入ると、昭和 8 年(1933)に官民一体による総合的な県営沼川沿岸排水幹線改良事業が開始され、昭和 12 年(1937)2 月には浮島ヶ原の治水工事の中でも要となる昭和放水路の工事が着工されました。

ところが、着工からまもなく日本は日中戦争へ突入します。日増しに戦時色は色濃くなり、昭和 16 年(1941)には太平洋戦争が始まりました。

セメントや鉄材等の資材や、召集と徴用の増加による深刻な人手不足も発生しましたが、工事の進行が困難な窮状を商工省に陳情し配給許可を受けたり、田子浦工業学校の学徒を動員したりと、一つ一つ問題に立ち向かい工事を続けました。

そして昭和 18 年(1943)6 月 30 日、技術陣の努力と浮島地区住民の協力のもと、ついに昭和放水路工事が竣工しました。

## 昭和放水路の今

現在でも昭和放水路は湛水被害の防除や優良農地の造成等の役割を果たしています。浮島ヶ原一带では富士山や愛鷹山を背景に、広大で美しい水田風景が見られます。



【協力】富士農林事務所

【参考資料】『静岡県土地改良史』、『沼川治水史』、『第 9 回企画展浮島沼と米づくり(富士市立博物館)』、『はばたく浮島ヶ原』



ふじのくに  
美しく品格のある邑  
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

なんじょうのさと

## 南条の里 — 富士宮市下条 —

平成 27 年度 知事顕彰 受賞



鎌倉時代後半の地頭、南条時光公がこの地の里づくりに尽力したことに敬意を払い、地域住民の得意分野を活かした地域コミュニティの形成や、農村

環境の保全を行っています。

遊休地を活用した有機栽培の大豆生産や商品開発は、富士常葉大学と協働で実施し、「一社一村しずおか運動」に認定されています。

また連作障害を避けるために大豆栽培を休んでいる畑には、富士山の眺望を彩る景観植物を育て、秋には富士山模様に植えられたカラフルなクッションマム(西洋菊)が見頃を迎えます。



### 〈邑のイベント等情報〉

- 『南条の里 蕎麦まつり』(毎年冬に開催)  
邑自慢の蕎麦がふるまわれ、富士常葉大学との協働活動で作った「まるごとふじとこ豆腐」の発売もされます。

## ささま — 島田市川根町笹間 —

平成 27 年度 知事顕彰 受賞



ささまは螢の里として親しまれている自然豊かな山村集落です。地域住民の有志が設立した「企業組合くれば」は、宿泊体験施設「山村都市交流センターささま」の運営を中心に、地域活性化活動など

活気ある邑づくりに積極的に取り組んでいます。

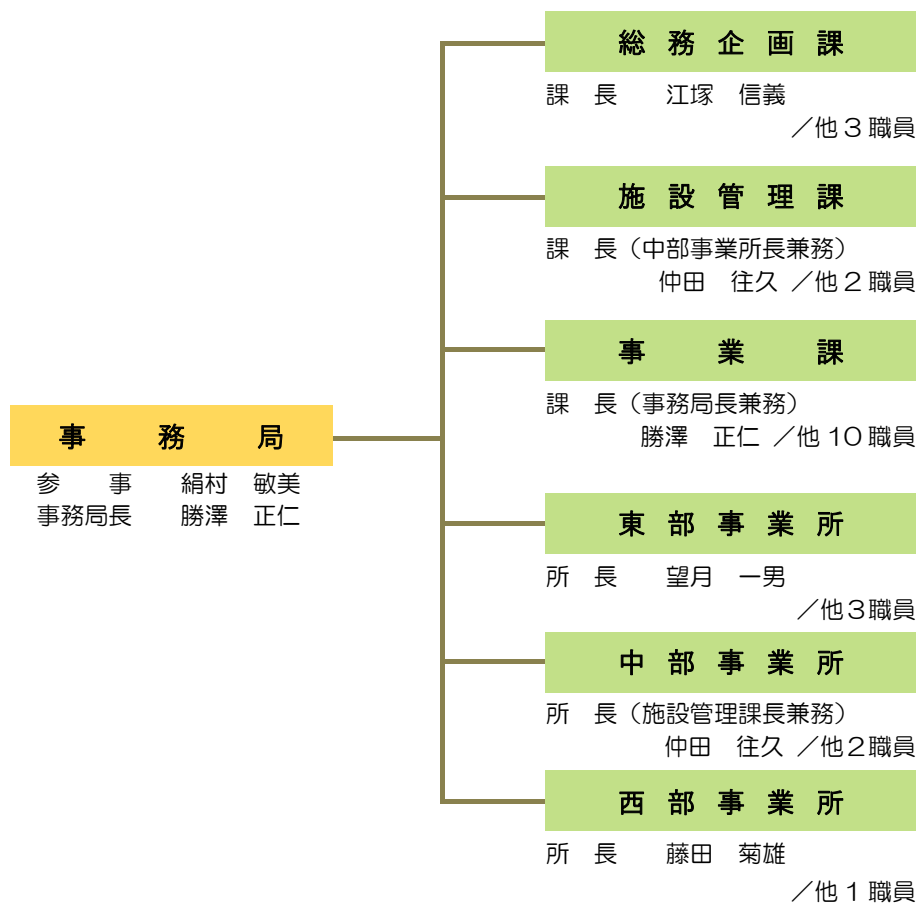
また、2年に一度開催され、国内外の陶芸家と笹間地区の住民が一丸となって取り組む「国際陶芸フェスティバル in ささま」は、4,000人以上の来訪者が訪れるほどの人気イベントで、他に類を見ない国際的な交流が図られています。



### 〈邑のイベント等情報〉

- 『第5回国際陶芸フェスティバル in ささま』  
(開催日) 2019年11月1日(金)~4日(月)

平成31年度(2019年度) 水土里ネット静岡 組織図



**水土里ネット静岡** (静岡県土地改良事業団体連合会)

ホームページ <http://www.sizdoren.jp>

**本部(事務局、総務企画課、施設管理課、事業課)**

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL (054)255-5151 FAX (054)221-3581

E-mail	総務企画課	総務担当	soumu@sizdoren.jp
		企画担当	kikaku@sizdoren.jp
	施設管理課	水土里担当	kanri-c@sizdoren.jp
	事業課	事業担当	jigyo@sizdoren.jp
		換地担当	kanchi@sizdoren.jp

**東部事業所**

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL (055)920-2269 FAX (055)920-2192 E-mail toubu@sizdoren.jp

**中部事業所**

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20

TEL (054)286-9273 FAX (054)286-9274 E-mail shisetsu@sizdoren.jp

**西部事業所**

〒438-0086 磐田市見付3599-4

TEL (0538)37-2316 FAX (0538)37-2403 E-mail seibu@sizdoren.jp

発行所：〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県土地改良事業団体連合会